

## 外科

### ◆ 研修目的

一般消化器・内分泌・血管・呼吸器外科の様々な疾患の診断・治療のための専門的知識・技能を修得することを目的とする。狭い領域の専門に固執することなく、高いレベルの総合医となるべく、技量を獲得するのを基本とするが、当院は日本外科学会、日本消化器外科学会、日本乳癌学会の専門医研修施設であり、さらに各学会の認定医取得を目標とする。

### ◆ 研修目標

#### 1 外科的診断検査法

適切に検査を選択・指示し、その結果を解釈し外科適応、治療の確立ができる。

○ 印は術者として行うことを目標とする。

- ① 単純 X 線検査（肺、腹部）
- ② 上部消化管造影 X 線検査（食道・胃・十二指腸）
- ③ 下部消化管造影 X 線検査（注腸）
- ④ PTCD・PTGBD
- ⑤ 造影 X 線検査（ろう孔造影）
- ⑥ 下肢静脈造影
- ⑦ 血管造影
- ⑧ 超音波検査（腹部・乳腺・甲状腺・四肢）
- ⑨ 上部消化管内視鏡検査（食道・胃・十二指腸）
- ⑩ 肛門鏡検査
- ⑪ ロマノスコピー
- ⑫ 下部内視鏡検査（大腸）
- ⑬ ERCP・EST
- ⑭ 気管支内視鏡
- 15 CT 検査（胸部・腹部）
- 16 MRI 検査（胸部・腹部）

## 2 外科的な基本的治療法

適応を決定し、実行できる。

- ① 薬剤の処方
- ② 輸液
- ③ 輸血・血液製剤の使用
- ④ 滅菌操作・消毒・感染症管理
- ⑤ 抗生物質の適切な使用
- ⑥ 抗腫瘍化学療法の使用と使用時の管理
- ⑦ 気道確保（気管切開・気管内挿管・トラヘルパー/ミニトラック挿入）
- ⑧ レスピレーターによる呼吸管理
- ⑨ 周術期の循環動態管理
- ⑩ 中心静脈栄養法（鎖骨下静脈・大腿静脈穿刺を含む）
- ⑪ 経管・経腸栄養法
- ⑫ Informed Consent and Decision

## 3 外科的基本手技

- ① 外傷・熱傷の処置、植皮術の手技
- ② 穿刺法（胸腔・腹腔など）
- ③ ドレーン、チューブ類の挿入と管理
- ④ 胃管・イレウス管の挿入と管理

## 4 外科手術

術者として経験するもの。

- ① 気管切開
- ② 創縫合
- ③ 皮下腫瘍摘出・リンパ節生検
- ④ 虫垂切除
- ⑤ ヘルニア根本手術
- ⑥ 胆嚢摘出術（開腹・腹腔鏡下）
- ⑦ 小腸切除

- ⑧ 胃切除
- ⑨ 結腸・直腸切除（開腹・腹腔鏡下）
- ⑩ 乳腺切除
- ⑪ 食道切除
- ⑫ 膵切除・膵頭十二指腸切除
- ⑬ 肝切除
- ⑭ 甲状腺切除
- ⑮ 下肢静脈瘤手術
- ⑯ その他

少なくとも助手として経験するもの

- 17 腹部大動脈瘤・閉塞性動脈疾患手術
- 18 肺切除
- 19 その他

## 5 末期医療

- ① 除痛対策・緩和医療
- ② 精神的ケア
- ③ 麻薬の取り扱い

## 6 その他

- ① 医療保険制度の理解
- ② 剖検
- ③ 抄読会・カンファレンス・CPC への参加
- ④ 研究会・学会発表 年1回以上
- ⑤ 論文掲載3年で1篇以上

## ◆ 研修期間

3年を原則とする。一般消化器外科、乳腺外科コースの指定・選択が可能である。心臓血管外科、脳神経外科、小児外科に関しては、他診療施設での研修を考慮する。

◆ 指導医

嶋田 昌彦 (部長) 松本 秀年 (副部長) 安井 信隆 (医長)  
 関 博章 (医長) 中村 雄介 (医員)

◆ 研修方法・内容

疾患により単独で、または指導医とともに主治医となり、検査・診断・治療にあたる。

外科研修週間予定

曜日 時間	月	火	水	木	金	土
7:45	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診
9:00		検査 A・B			外来	検査 A・B
9:30	手術		手術	手術	検査 A・B	
13:00						
13:30			症例カンファレンス 部長回診		検査 B・C	
15:00			検査 B・C			
17:30			放射線科・内科・外科 合同カンファレンス			
19:00		外科抄読会 外科連絡会				

20:00

検査 A : 胃透視、注腸、上部消化管内視鏡検査、造影検査

検査 B : 外来手術 (乳腺腫瘍摘出、リンパ節生検等)

検査 C : 下部消化管内視鏡検査、PTCD、PTGBD、ERCP、PEG、  
 造影検査